

3研究領域合同 研究報告会

もう一つ先の世界を求めて

先端化と融合化の調和

— ナノ・界面・光作用 —

● ご案内 ●

先端科学技術の未知の世界を先駆ける若き研究者達が、今まさに新しき大地を目指して飛び立とうとしています。研究内容が比較的近い分野を含む私達「さがさけ」3領域は、研究交流による一層の相乗効果に加えて人的なつながりの深まりを願い、ここに合同による研究報告会を開催いたします。

平成18年度採択研究者総勢33名が、3年半にわたり積み上げてきた成果と将来に向けた夢を熱く語ります。サイエンスの深耕やテクノロジーの先進化あり、そしてイノベーションへの昂揚もあるに違いありません。これら「さがさけ」研究の実績と、研究を通して輝きが一段と増した研究者達の姿を親しく御高覧いただければ幸いです。必ずやそれぞれの立場で次世代に向けた何がしかの指針を感じ取りいただけるものと確信します。

研究総括 川合真紀 横山直樹 筒井哲夫

日時 平成22年1月12日(火)～13日(水)

会場 学術総合センター

東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号

最寄駅 地下鉄 東京メトロ東西線「竹橋駅」1b出口(徒歩4分)

東京メトロ半蔵門線、都営三田線・新宿線「神保町駅」A8出口(徒歩3分)

参加費 入場無料

懇親会 3,000円(平成22年1月12日(火)18:00～)

お問い合わせは各領域事務所へ 界面の構造と制御: 04-7135-7350 ナノ製造技術の探索と展開: 046-248-8861
物質と光作用: 092-588-0311

専用ホームページ <http://www.photon.jst.go.jp/inp-1-houkokukai/>

第1日目 平成22年1月12日(火)		開会挨拶 9:45～10:00 口頭発表 10:00～15:30 ポスターセッション 15:30～17:30 懇親会 18:00～20:00	
A会場(一橋記念講堂)		B会場(中会議室)	
9:45～10:00 開会挨拶		10:00 B-1	
10:00 A-1		10:00 B-1	
狙いは新機能物質の合成		カーボンナノチューブの明日への展開	
	宮田隆志 [界] 関西大学 分子応答性材料を用いたインテリジェントインターフェースの創製		松井 淳 [け] 東北大学 界面場を用いたナノ材料集積化技術の創製
	佐藤久子 [界] 愛媛大学 キラル金属錯体ネットワーク膜の製造とVCD/RASコンカレント測定法の開発		加藤雄一郎 [光] 東京大学 カーボンナノチューブの電界発光
	矢貝史樹 [光] 千葉大学 超分子色素モジュールによる高機能光学材料の創製		前田 優 [け] 東京学芸大学 バンド構造制御によるカーボンナノチューブ電子材料の創製
	山田裕子 [光] 愛媛大学 有機導電性化合物の光による高効率合成		斎藤 毅 [け] 産業技術総合研究所 SWNT量産用自動直径制御合成システムの構築とSWNT加工プロセス基礎技術の開発
12:00～13:00 昼休み		12:00 B-2	
13:00～14:00 特別講演 野地博行 大阪大学教授		14:00 B-2	
14:00 A-2		14:00 B-2	
細胞・生体機能から独創的機能実現へ		初めて捉えた光現象から新機能の発現を	
	叶 深 [界] 北海道大学 細胞膜の界面分子構造と機能性の解明		立間 徹 [光] 東京大学 局在プラズモンを利用した電荷分離
	堀克 敏 [界] 名古屋工業大学 細菌ナノファイバーの構造と接合界面の制御		岡本晃一 [光] 科学技術振興機構 プラズモニクスに基づく高輝度発光デバイスの開発
	平塚祐一 [け] 北陸先端科学技術大学院大学 生体分子モーターを動力源としたマイクロマシン		山本晃司 [光] 福井大学 テラヘルツ波による有機電子物質の解明と有機デバイス検査法の開発
15:30～17:30 ポスターセッション(2Fホワイエ)		15:30～17:00 懇親会(3Fレストラン)	
18:00～20:00 懇親会(3Fレストラン)		第2日目 平成22年1月13日(水)	
A会場(一橋記念講堂)		B会場(中会議室)	
9:30 A-3		9:30 B-3	
ナノ構造デザインによる新機能創出		固相・液相・細孔の界面観測と展開	
	赤松謙祐 [け] 甲南大学 有機・無機ナノ複合体の創製と精密微細構造制御		岡田美智雄 [界] 大阪大学 表面化学反応立体ダイナミクスの解明
	藤田晃司 [光] 京都大学 有機ナノサイズ凝集体による微小光共振器の形成		吉田直哉 [界] 東京大学 固液界面におけるダイナミックな相互作用の制御
	増尾貞弘 [光] 京都工芸繊維大学 有機ナノサイズ凝集体の光アンパルパシブ現象の解明		中西周次 [界] 東京大学 興奮性面液ナノ界面での物質ベクトル輸送
	生駒忠昭 [光] 新潟大学 光誘起巨磁気抵抗を有する分子素子の創出		柳下 崇 [け] 首都大学東京 高規則性層状酸化ポラスアルミナによる膜酸化
11:30～12:30 昼休み		12:30 B-4	
12:30 A-4		12:30 B-4	
ナノ構造の制御から電子デバイスへ		分子レベル計測からナノ加工へ	
	大矢 忍 [界] 東京大学 半導体スピントロニクスデバイス応用		木口 学 [界] 東京工業大学 制御された単分子-金属接合系の構築および物性制御
	齋藤秀和 [界] 産業技術総合研究所 強磁性金属/半導体界面制御によるスピントランジスタの創製		福井賢一 [界] 大阪大学 光応答分子探針を利用した界面相互作用の抽出計測
	内藤泰久 [け] 産業技術総合研究所 金属ナノギャップ電極による抵抗スイッチ効果の発生メカニズムの解明		高田正義 [界] 科学技術振興機構 強磁場走査トンネル分光法による単一分子のスピントロニクス
[休憩15分]		[休憩15分]	
	ファン ハロルド [界] 東京大学 静電エネルギーの発散を利用した人工界面場の創成と制御		三村秀和 [け] 大阪大学 ラジステルナノ精度加工・計測・転写プロセスの構築
	中山健一 [光] 山形大学 メタルベース構造を用いた有機発光トランジスタ		丸尾昭二 [け] 横浜国立大学 3次元ナノ造形マルチモーダルインテグレーション
	末益 崇 [界] 筑波大学 機能性ヘテロ界面によるSi系高効率薄膜太陽電池	15:15(15:45)～16:45 ポスターセッション(2Fホワイエ)	
16:45～17:00 閉会挨拶		16:45～17:00 閉会挨拶	